

wena wrist pro バンド用ガイド



* 3 T A C O 4 6 0 1 * (1)

©2017 Sony Corporation
Printed in Japan

3-TAC-046-01(1)

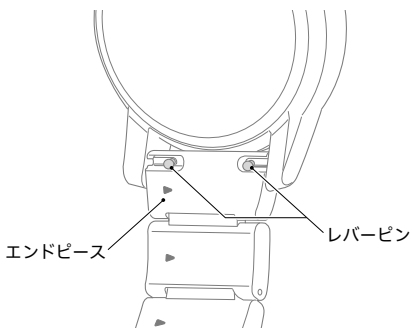
ヘッドを取り付ける

本機にあらかじめ取り付けられているエンドピースは、wena wrist pro用エンドピース22mm(ラグ幅22mm用)です。ラグ幅が22mm以外のヘッドを取り付けるには、別売りのエンドピースが必要です。エンドピースのご購入・取り付けについては、wenaサポートページをご確認ください。wena wrist proを取り付けることができる腕時計の推奨サイズについても、同ページをご確認ください。



<http://wena.jp/support.html>

バンドのレバーピンをつまんだ状態でヘッドのバンド取り付け用の穴に合わせます。レバーピンを離します。



ご注意

お持ちのヘッドに取り付けられないことを理由とする返品・交換は承りかねます。また、バンドの取り外しによりヘッドの腕時計のメーカー保証が無効となる*など、wena wrist proの着脱に関連してお客様に生じた損害について責任を負いかねます。

* お持ちの腕時計のメーカー保証については、お客様ご自身で直接メーカーにお問い合わせください。

時計修理店に長さ調整を依頼する

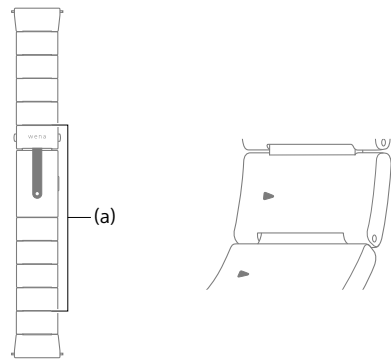
下記をお持ちのうえ、お近くの時計修理店に長さ調整を依頼してください。

- 本機
- 長さ調整に必要なパーツ
- バンド用ガイド(本書)

ご注意

通常の時計と調整方法が異なるため、調整はお客様ご自身では行わず、必ず時計修理店にバンド用ガイド(本書)を持って依頼してください。

裏側に▶マークが付いていないパーツ(a)は、絶対に取り外さないよう時計修理店にお伝えください。



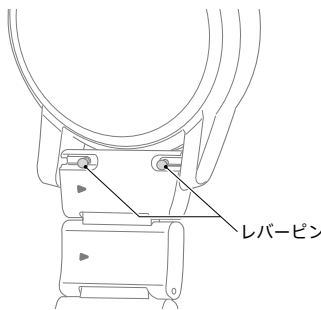
時計修理店様へ

バンドの長さ調整方法

調整コマ(大)、(小)を組み合わせて、バンドの長さを調整します。「バンドの長さを調整する」のサイズ表のように、お買い上げ時のサイズ(LLサイズ)から各サイズへ長さを調整してください。

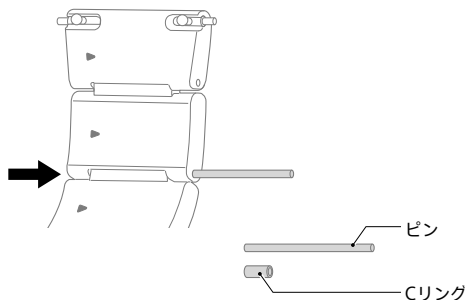
ヘッドの取り外しかた

レバーピンをつまむと、ヘッドが外れます。



調整コマ・エンドピースの取り外しかた

バンドの裏側に▶マークが付いている調整コマとエンドピースのみ、取り外すことができます。▶の方向にピンを打ち抜きます。抜いたあとのピンとCリングは、なくさないようにご注意ください。

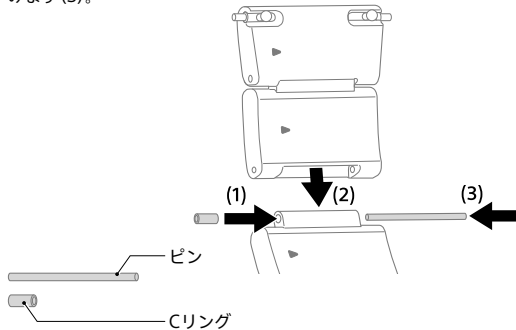


ご注意

▶マークが付いていないパーツは絶対に取り外さないでください。

調整コマ・エンドピースの取り付けかた

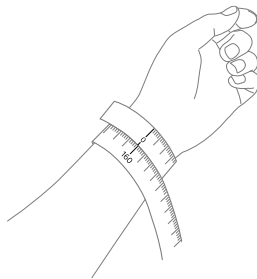
▶の方向にCリングを入れます(1)。パーツとパーツの穴を合わせ(2)、▶とは逆方向からピンを打ち込みます(3)。



バンドの長さを調整する

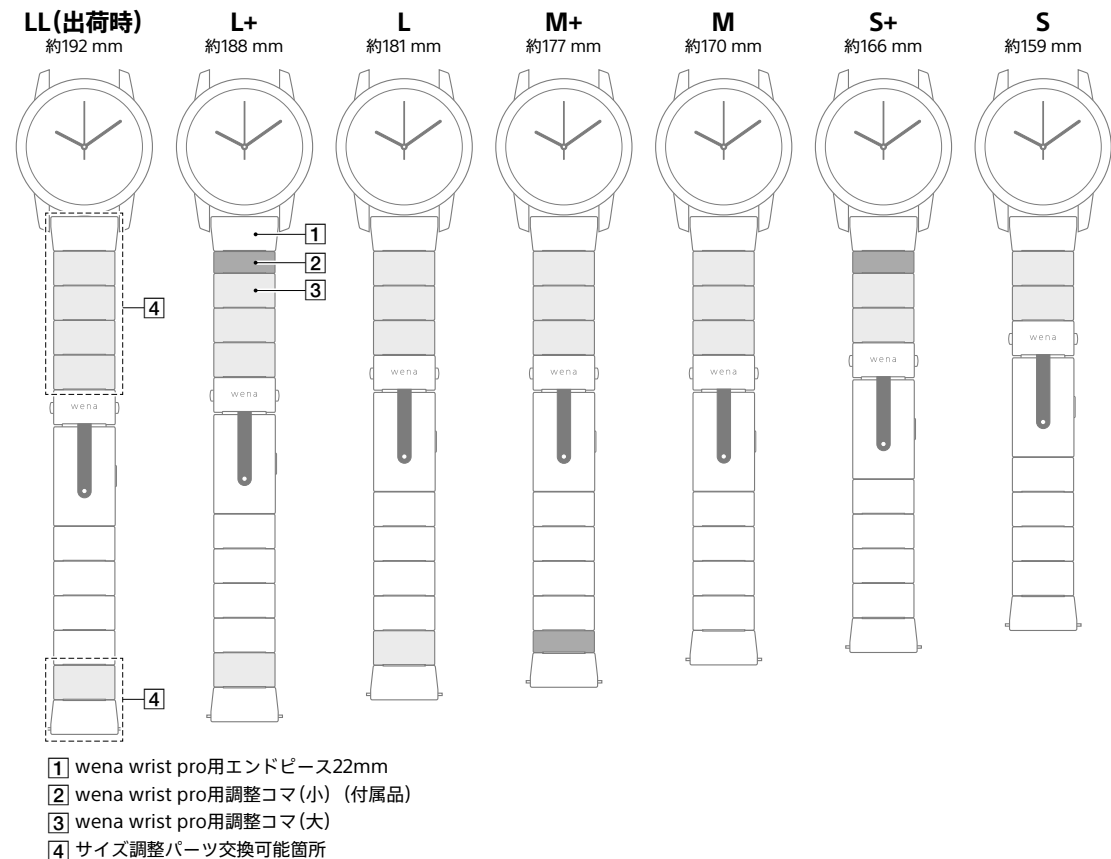
お買い上げ時のバンドの長さはLLサイズです。調整コマ(大)(本機装着済み)、調整コマ(小)(本機付属)を組み合わせて長さを調整できます。メジャーを手首に巻き付けて手首周りを測り、下記のサイズ表を参考に好みのサイズに調整をしてください。調整はお客様ご自身では行わず、時計修理店に依頼してください。

- きつめに付けたい場合は1段階小さいサイズを、ゆるめに付けたい場合は1段階大きいサイズを選んでください。
- wena wrist pro用調整コマ(小)で7 mm、wena wrist pro用調整コマ(大)で11 mmの調整が可能です。
- 手首周りに対してゆるすぎるサイズを選ぶと、通知を知らせる振動に気づかない場合があります。
- 下記のサイズ表以外のサイズをご希望の場合は、サポートページをご参照ください。

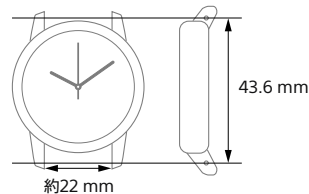


ご注意

下記に記載の各サイズの長さは、wena wrist head Three Handsモデル(WN-WT015-H)を取り付けた場合の目安の値です。この長さは、お付けになるヘッドやエンドピース、ラグ形状により異なります。



wena wrist head Three Hands(WN-WT015-H)モデルの参考寸法



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書およびヘルプガイド(Web取扱説明書)をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを定期的に点検してください。

故障したら使わない

すぐにソニーの相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

異常な音・においがしたり、煙が出たら、ソニーの相談窓口へ修理をご依頼ください。

警告表示の意味

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・破裂**などにより**死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

高温になる場所(火のそば、暖房機器のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)での使用、保管、放置をしないでください。

発火、破裂、火災、けが、やけどの原因となります。

火の中に投入したり、過熱したりしないでください。

発火、破裂、火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、入れないでください。

発火、やけど、けが、感電の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水分でぬれた状態のまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電は付属の充電クリップを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、発熱、発火、破裂や内蔵電池の液漏れなどの原因となります。

